

カテ室プロジェクトチーム 2024 年度 活動報告

1. カテ室プロジェクトチームの発足

2024 年 6 月より循環器内科の診療体制が刷新され、プロジェクトチーム設置基準（※）に基づき、「循環器内科プロジェクトチーム」を発足した。さらに、循環器内科によるカテール室（以下、カテ室）の運営を安全・円滑に行うため、2024 年 10 月より循環器内科プロジェクトチーム内に「カテ室プロジェクトチーム」を発足した。

※プロジェクトチーム設置基準：①診療科の責任医師が変更になったとき②休診中の診療科が再開するとき③新しく侵襲の高い治療・処置を始めるとき

2. 体制

主にカテ室業務に関わるスタッフより、プロジェクトチームメンバー（医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師、放射線技師、医事課 合計 9 名）を選出し、教育（勉強会、院外研修、実践的訓練）、環境整備を含むカテ室の運営について、月 1 回の診療科会議（以下、循環器内科チーム会議）内で報告や検討を行うこととした。

3. 過去の総括

とくに循環器内科のカテール事案で医療事故調査制度の対象となった 2 件中、遺族への説明が完了し報告書開示の同意が得られた事例においては、①治療適用の問題、②治療過程における技術的問題と複数医師連携の問題、③患者家族への説明と同意の問題が指摘され、それらの点についての再発防止策を改善計画に盛り込んだ。

またそうした過去事例の総括として「カテール検査・治療検証報告」を提出した。（別添資料①）

これらを通じた組織的な内省によって、以下に記す体制や仕組みが必要であることが明確に認識され、以後の活動や整備の指針となった。

- ・医師間協議…当面はカテール検査・治療において循環器専門医 2 名で治療戦略を協議し、メディカルスタッフとの連携強化の役割を果たす体制
- ・多職種協議…医の倫理委員会も加え、多職種で治療適応について医師と議論できる体制
- ・院内調査…職員から疑義がおこれば自動的に院内調査が実施される仕組み
- ・メディカルスタッフの教育…院外研修はもちろん、指導応援を招き最大限の安全策を講じた治療体制

4. 活動 別添資料②

- 1) 院外研修（宇治徳洲会病院）
- 2) 院内勉強会
- 3) 実践的訓練（シミュレーション）
- 4) 業務手順・内容の見直し

「カテーテルチェックシート」、「緊急カテーテルの流れ」、「急変時フロー」の策定

4. 医の倫理委員会による検査（審議）

神戸市保健所より、カテーテル診療を審議する機能の設置を指導されたため、医の倫理委員会に外部委員（神戸市保健所より推薦）を加え、2024年12月24日にカテーテル診療の体制について検査（審議）を受けた。

その結果、神戸大学大学院医学研究科内科学講座・循環器内科学分野の大竹寛雅教授からは「よく準備されている印象」との評価を頂いた。ただし「説明・同意書に用いられている文言をもう少し平易にすることが望ましい」との御指摘を頂いたため、同大学病院で実際に使用されている説明・同意書を参考に修正を加えた。

また神戸市保健所からも、「患者にとってさらにわかりやすい説明方法（心臓模型や図の使用など）」や「造影剤アレルギー対策」などについて示唆を頂いたため、プロジェクトチームで検討を行った上で、実際の運用改変について保健所に報告予定である。

以上